

法政就業力通信

～今月のさんぽ道～

法政大学
「就業力を育てる3ステップシステム」
プロジェクト
<http://3step.hosei.ac.jp/>

文部科学省『大学生の就業力育成支援事業(就業力GP)』採択プロジェクト

就業力GPは大学教育の再発見

特任教員 鈴木 美伸 (すずき よしのぶ)

若者に期待される力については、「人間力」(内閣府,2003)、「就職基礎能力」(厚労省,2004)、「社会人基礎力」(経産省,2005)、「学士力」(文科省,2007)と、既に多くのものが行政より提唱されてきました。

今回、新たに文科省のプロジェクト「就業力」GPでは180校の提案が採択されましたが、法政大学が取り組む意義について、そして特任教員としての姿勢について、私の考えをお伝えしたいと思います。

大学発であること

このプロジェクトの大きな意義は、大学側から社会に発信するものであることです。これまでのキャリア教育や就職ガイダンスでは、「求められる人材」を企業に問い、それを明らかにしていくというスタンスが殆どでした。

しかし、今回の取り組みでは、社会(企業)のニーズを調査しつつも、それらにあわせてカリキュラムを考えるのではなく、それらを踏まえて大学のもつ知的資産・ノウハウを再認識し、我々の方から「求められる人材」を発信していきたいと思えます。

私も企業採用担当者時代、大学に対して多くの注文をつけていたものです。心の中で「今の大学では仕事力の育成など無理だろうなあ。」と思いつつ。そんな採用担当者の目からウロコを落としてやりたいと思えます。

大学教育の再発見であること

大学教育(アカデミックスキル)は社会で本当に役立つのです。しかし、それに気づいている人は意外と少ないのではないのでしょうか。私の原体験をご紹介します。ハイテク製品の駆け出しのセールスだった頃、営業訪問から戻って上司に報告を求められる度に指摘されたのは、「それはお前の意見なのか? 顧客の言っている事実なのか?」、更に「その顧客が言っているからといって、それを他の情報源から確認したのか?」です。

これは大学で学ぶべき基本中の基本と言える、「事実」と「意見」を峻別することであり、目の前に事実(一次情報)があつたとしても、それだけで一般化しすぎてはいけない、ということです。運動部に夢中だった私は、仕事に就いてから初めて「ああ、大学で学んでいたことは世の中で役に立つんだ!」と感嘆したものです。どれだけ多くの社会人が同じ思いを感じていることでしょう。

大学教育は就業力の宝庫

今春、特任教員として着任した我々は、これまでのキャリア教育ノウハウを活かして「キャリアデザイン入門」等の授業を実施しておりますが、次のステップは、各学部の先生方の無数の研究教育資産を就業力として顕在化して世に発信し、協働してシラバスを開発することだと思います。先生方との意見交換や協働活動を楽しみにしておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



略歴

84年成城大学法学部卒。

日米ハイテク企業での営業・人事を経て人事コンサルタントとして独立。キャリアカウンセラー資格取得後は多くの大学でキャリア論の講師を務める。

e-mail:

ysuzuki@stage41.com

yoshinobu.suzuki.88@hosei.ac.jp

研究室は新一口坂校舎6F



略歴 84年名古屋大学大学院卒。京都大学博士(経済学)。84~89年京都大学経済研究所助手、90~97年滋賀大学経済学部助教授・教授。97年~03年法政大学経営学部教授、04年~IM研究科教授。

社会は労働の連鎖でできあがっている

教授 藤村 博之 (ふじむら ひろゆき プロジェクトリーダー)

コンビニエンスストアにおにぎりが到着するまで何人の人の手を経ているか？
—私の答えは10万人以上です。

おにぎりの構成要素を考えると、米、塩、調味料などがあります。例えば、米を作るには農機具を使いますから、農機具メーカーの人たちが関連しています。農機具を動かすためのガソリンは中東からの輸入ですから、タンカーを造っている会社の人たちが関係しています。

もうおわかりですね。たった一個のおにぎりですが、それが私たちの手元に届くまでに無限に近い人たちが関係しているのです。これこそが労働の連鎖です。このようなことに気づかせて、自分はどの部分を担うかを考えさせるのがキャリア教育だと思います。



略歴 法政大学大学院経営学研究科キャリアデザイン学専攻(修士)卒業後、法政大学大学院政策創造研究科博士後期課程に進学。2011年3月、同博士課程中退。

「優秀作品集」を発刊します！

特任教員 白井 章詞 (しらい しょうじ)

キャリアデザイン入門では、「Career」を考えるにあたり、受講生にはオーラルヒストリー研究にも取り組んでもらいます。社会人を対象に、これまでの人生の転機と対処方法について調査を行ない、得られた知見をもとに考察を述べるものです。学生にとって、大学に入って最初を書く長文だと思います。もちろん、取材をするのも初めてのことでしょう。しかしながら、思いのほか優秀な作品が多く、読んでいる私も大変勉強になります。このまま私の戸棚に保管するだけではあまりに惜しく、急遽、「優秀作品集」を作成することにしました。今秋には完成予定です。ご興味のある方は、ぜひお気軽にご一報ください。秋の夜長にお勧めです。



略歴 70年慶応義塾大学経済学部卒。70~06年伊藤忠商事(株)勤務、06~11年帝京大学と法政大学職員。11年~法政大学教員

夏休みの過ごし方が大切！

特任教員 有田 五郎 (ありた ごろう)

あるゼミに出向いて「君の履歴書はこう読まれる！」—総合商社人事と法政大学の現場で見たもの—という講義を行いました。就職活動での履歴書・エントリーシートを書く時、面接への準備の際に、「自分が相手の立場だったら…」を考えて行動する事が良い結果に繋がるという内容です。書き方・話し方は「結論」から、その内容は「どう考えたか」「どう行動したのか」という「過程」でこそ「自分らしさ」が伝わるとい事です。

大学生活の中にネタ作りの場があり、その一つ一つにどう取り組んだかが求められる。これからの夏休みをどう過ごすかで大きな差が出る事を肝に銘じて「楽しんで！」とのエールを残しました。

◆ 就業力 GP 公開講演会「大学教育と就業力」—大学での学びは働く力にどう結びつのか？—を開催します

本学の就業力育成支援の取り組みを紹介する講演会を行います。保護者の方にとって参考となる内容となっています。プログラムは、就業力 GP についての紹介・就業力育成関連科目の紹介・本学教員と卒業生によるトークセッションです。

日時：2011年8月7日 11:00~12:30 (オープンキャンパス開催日) 入場自由・参加費無料

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス 外濠校舎 S406 教室 発表者：藤村教授・白井講師・鈴木講師・有田講師・本学学生・卒業生

◆ 高校生向け連続キャリアガイダンスのご案内

高校生のみなさんに大学での“学び”を模擬体験してもらう連続講座を実施しています。

日時：2011年6月26日・8月7日 / 21日 / 22日 (オープンキャンパス開催日) ★ 詳細・お申込み方法は「就業力 GP」の HP 定員：60名(事前申込み制) 時間：13:20~14:50 場所：法政大学市ヶ谷キャンパス (<http://3step.hosei.ac.jp/>) をご覧ください。講師：児美川 孝一郎教授(キャリアデザイン学部長) 白井 章詞 特任講師

第1回(6/26)「大学で学んでなに？」 第2回(8/7)「仕事×仕事=?」

第3回(8/21)「わが家のおサイフ」 第4回(8/22)「その時、君はどう動く？」

◆ 編集後記：前号でも案内しました6/26 オープンキャンパスでの「高校生参加企画」にお邪魔しました。

参加した高校生が、気負うことなく楽しんで取り組んでいたのが印象的です。初対面同士で組んだグループですが、当日の目標についてはきちんとコンセンサスがとれていたようです。8/7の第2回が楽しみになりました。《事務局：細田》

「就業力を育てる3ステップシステム」プロジェクト (事務局：学務部教育支援課)

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL: 03-3264-9520 WEB: <http://3step.hosei.ac.jp/>

就業力 を育てる **3ステップシステム**
文部科学省「大学生の就業力育成支援事業(就業力GP)」採択プロジェクト